

# Sustainable Development Goals





メープルリーフフーズ社のサステナビリティ戦略は、国連17の持続可能な開発目標(SDGs)と一致した目標を掲げております。SDGsは、世界の社会、環境、経済の進歩に向け、2030年をターゲットとした国連による行動要請であります。これらの目標に基づき、すべての国、政府、企業、個人が積極的にグローバルな課題に取り組み、健康と教育を改善し、不平等を減らし、経済成長を促進し、気候変動に取り組むための戦略を実施することにより、普遍的かつ先見性のある枠組みを社会にもたらします。

メープルリーフフーズ社では、事業の特性を考慮し、以下のようなSDGsにて大きな貢献ができるサステナビリティ戦略を策定しております。

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 2: 飢餓をゼロに</p> 	<p>2.1. 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。</p> <p>2.4. 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全ての人々への食糧保障に関して、「Maple Leaf Centre for Action on Food Security」という登録慈善団体があります。2030年までに食糧飢餓を50%削減することを目標としております。</li> <li>✓ 当社では、食品の製造において、添加物の使用を控え、より栄養価値の高い食品の提供を行っております。</li> <li>✓ 肉製品および植物原料のタンパク製品分野において、入手しやすく、手頃な価格で健康的なものとなるよう、事業戦略を継続して実行しております。</li> <li>✓ カーボンマネジメント戦略を通じて、持続可能な農業を支援しております。</li> </ul>
<p>持続可能な開発目標 5: ジェンダー平等を 実現しよう</p> 	<p>5.1. あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。</p> <p>5.5. 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 包括的で多様な職場の実現を目指し、組織の多様化を進める、ダイバーシティ&amp;インクルージョン戦略を推進しております。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2020年までに、マネージャーレベルで50%の女性比率を達成する目標を掲げております。</li> </ul> </li> <li>✓ 社内の従業員リソースグループ:女性のネットワークと製造業における女性。</li> <li>✓ ウェスタン大学アイビービジネススクールの協力のもと、役職者やポテンシャルの高い女性向けに「女性のリーダーシップ」研修プログラムを開発しました。</li> <li>✓ すべての役員および上級役職者向けのジェンダーと組織の多様化についてのトレーニングセッションを開催しました。</li> </ul>


# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 6: 安全な水とトイレ を世界中に</p> 	<p>6.3. 2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。</p> <p>6.4. 2030年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2025年までに水の利用(製品1,000kgあたり)を50%削減することを、目標に掲げております。</li> <li>✓ 当社では、事業全体において、水資源保全と水の利用の効率化を進めるプロジェクトを推進しております。</li> </ul>
<p>持続可能な開発目標 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>7.3. 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2025年までにエネルギーの利用(製品1,000kgあたり)を50%削減することを、目標に掲げております。</li> <li>✓ パリ協定のScience Based Targetに準拠し、2030年までにスコープ1(所有あるいは制御している発生源からの直接排出物)およびスコープ2(報告する企業が消費する購入エネルギーの生成からの間接排出物)の温室効果ガス排出量を30%削減し、2030年までにスコープ3(企業のバリューチェーンで発生するその他全ての間接排出物)の温室効果ガス排出量を30%削減するという目標を定めております。</li> <li>✓ 2019年にカーボンニュートラル企業となり、北米の風力発電再生可能エネルギークレジット(RECs)に投資しております。</li> <li>✓ 当社では、事業全体でエネルギー使用削減と効率化プロジェクトを推進しております。</li> </ul>

# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 8: 働きがいも経済成長も</p> 	<p>8.5. 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。</p> <p>8.8. 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全ての労働者に安全で安心できる労働環境を整えております。</li> <li>✓ 当社では、すべての労働者にとって、安全で安心な労働環境を整備するため、包括的な労働安全衛生戦略および管理体制を有しております。</li> <li>✓ 職場での労働災害をゼロにする目標を掲げております。</li> <li>✓ すべての事業所で年間安全衛生事故削減計画を完全達成することを、目標に掲げております。</li> <li>✓ 外部安全監査の基準を完全に満たす目標を掲げております。</li> <li>✓ 多様な従業員が自分らしく振舞えるよう、安全で包括的な職場環境を実現することを目的とした、組織のダイバーシティ&amp;インクルージョン戦略を実行しております。</li> <li>✓ 人々が価値・表現を認められ、安全・安心を感じる環境を作り出せるよう、文化的障壁に対応する方法を明確にし、包括的なダイバーシティ&amp;インクルージョンへのブループリントを展開しました。</li> </ul>
<p>持続可能な開発目標 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>9.4. 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 持続可能かつ効率的な施設となるよう、事業全体で建物と設備の改修を行っております。</li> </ul>



# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 10: 人や国の不平等 をなくそう</p> 	<p><b>10.2.</b> 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</p> <p><b>10.3.</b> 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。</p>	<p>✓ 包括的で多様な職場の実現を目指したダイバーシティ&amp;インクルージョン戦略を実行しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2022年までにマネージャー以上の役職の女性比率を50%とすることです。</li> </ul> <p>✓ 人々が価値・表現を認められ、安全・安心を感じる環境を作り出せるよう、文化的障壁に対応する方法を明確にし、包括的なダイバーシティ&amp;インクルージョンへのブループリントを展開しました。</p> <p>✓ ウェスタン大学アイビービジネススクールの協力のもと、役職者やポテンシャルの高い女性向けに「女性のリーダーシップ」研修プログラムを開発しました。</p> <p>✓ すべての役員および上級役職者向けのジェンダーと多様化についてのトレーニングセッションを開催しました。</p> <p>✓ 社内の従業員リソースグループを開発しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性のインパクトネットワーク</li> <li>• 生産部門における女性</li> <li>• 自尊心と連携</li> <li>• 多文化アドボカシー・ネットワーク</li> </ul>


# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 12: つくる責任 つかう責任</p> 	<p>12.3. 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。</p> <p>12.5. 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p> <p>12.6. 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。</p> <p>12.7. 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2025年までに食品廃棄物を50%削減することを目標に掲げております。</li> <li>✓ 2025年までに固形廃棄物を50%削減することを目標に掲げております。</li> <li>✓ 当社の登録慈善団体「Maple Leaf Centre for Action on Food Security」は、食糧保障に関して、2030年までに食糧飢餓を50%削減することを目標に掲げております。</li> <li>✓ 当社では、食品の製造において、添加物の使用を控え、より栄養価値の高い食品の提供を行っております。</li> <li>✓ 廃棄物削減を重視した「オペレーショナル・エクセレンス・システム」にサステナビリティの概念を統合しております。</li> <li>✓ カーボンマネジメント戦略を通じて、持続可能な農業施策を支援しています。</li> </ul>
<p>持続可能な開発目標 13: 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>13.2. 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 当社のビジネス全体にサステナビリティ(気候への取組を含む)を組み込むという、ビジョンと戦略を有しております</li> <li>✓ カーボンマネジメント戦略を実行しています。</li> <li>✓ パリ協定のScience Based Targetに準拠し、温室効果ガスの削減目標を定めております。</li> <li>✓ 当社では、2019年にカーボンニュートラルを達成しました。</li> <li>✓ 当社のSDGsは、2025年までに環境指標(エネルギー、水、固形廃棄物)において、2025年までに2014年対比で50%削減(完成品トン当たり)することです。</li> </ul>

# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 15: 陸の豊かさを守ろう</p> 	<p>15.1. 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。</p> <p>15.2. 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 持続可能な森林利用を促進し、北米の森林を保護、回復に取り組む価値のある森林保全プロジェクトに投資しております。</li> </ul>
<p>持続可能な開発目標 16: 平和と公正を すべての人に</p> 	<p>16.3. 国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、すべての人々に司法への平等なアクセスを提供する。</p> <p>16.5. あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。</p> <p>16.6. あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。</p> <p>16.7. あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ メープルリーフフーズ社とその従業員が、すべての事業活動において最高水準の倫理と誠実さを示し、それらを社内、お客様、サプライヤー、競合他社、および事業を展開するコミュニティに対してどう適用していくかを明示している、ビジネス行動規範ポリシーを有しております。</li> <li>✓ 汚職や贈収賄に対してゼロトレランスポリシーを持っております。</li> <li>✓ 多様な従業員が自分らしく振舞えるよう、安全で包括的な職場環境を実現することを目的とした、組織のダイバーシティ&amp;インクルージョン戦略を実行しております。</li> <li>✓ 人々が価値・表現を認められ、安全・安心を感じる環境を作り出せるよう、文化的障壁に対応する方法を明確にし、包括的なダイバーシティ&amp;インクルージョンへのブループリントを展開しました。</li> </ul>

# Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標	事業特性と合致するターゲット	メープルリーフフーズ社のSDGs戦略
<p>持続可能な開発目標 17: パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 	<p>17.16. すべての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。</p> <p>17.17. さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ より良い食品、より良いケア、より良いコミュニティ、より良い地球の未来を推進するために、政府、産業、NGOとの連携を図っております。</li> <li>✓ SDGsを推進するために、サプライチェーン、顧客、競合他社との共同作業と情報共有を推進しております。</li> <li>✓ サプライヤーと共に、スコープ3の脱炭素化計画を策定しております。</li> <li>✓ 当社の登録慈善団体「Maple Leaf Centre for Action on Food Security」は、食品団体と共に、コミュニティへの関与と協力を焦点を当てております。</li> <li>✓ 当社は、カナダにおける最初のサステナビリティリンクローン(カーボンニュートラルの維持と排出量の削減を推進する9つのグローバル銀行とのパートナーシップ)の一員であります。</li> </ul>

SDG Logo Use Guidelines can be found at the following URL:

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/news/communications-material/>